

# 付 録

# 清瀬市のあゆみ

年 代	で き ご と
明治 22年 (1889)	・神奈川県北多摩郡の一村として清瀬村誕生
明治 26年 (1893)	・西・南・北多摩郡の三多摩が神奈川県から東京府に移る
明治 31年 (1898)	・昇進尋常小学校(現清瀬小学校)開校
大正 4年 (1915)	・武蔵野鉄道(現西武鉄道池袋線)開通
大正 6年 (1917)	・秋津駅開設
大正 8年 (1919)	・清瀬に電灯がひかれる
大正 10年 (1921)	・清瀬郵便局(無集配局)開局
大正 11年 (1922)	・武蔵野鉄道が電化
大正 12年 (1923)	・関東大震災
大正 13年 (1924)	・清瀬駅開設
昭和 6年 (1931)	・府立清瀬病院(現独立行政法人国立病院機構東京病院)開院
昭和 10年 (1935)	・清瀬に電話が開通する
昭和 15年 (1940)	・小金井街道(東久留米市前沢～清瀬橋)開通
昭和 18年 (1943)	・結核研究所が清瀬に移転
昭和 22年 (1947)	・清瀬中学校開校
昭和 25年 (1950)	・気象通信所(現気象衛星センター)設立
昭和 26年 (1951)	・清瀬駅-上宮間のバスが開通する
昭和 29年 (1954)	・清瀬村が清瀬町になる ・町(市)営住宅の建設開始
昭和 30年 (1955)	・第一保育園開園
昭和 34年 (1959)	・町営水道事業始まる
昭和 35年 (1960)	・芝山出張所(現松山出張所)オープン
昭和 36年 (1961)	・町(市)章決まる ・清瀬公民館(現清瀬けやきホール)開館
昭和 38年 (1963)	・都営野塩団地の入居開始
昭和 41年 (1966)	・初めての信号機が松山に設置される
昭和 42年 (1967)	・公団(現UR都市機構)旭が丘団地の入居開始 ・都市ガスがひかれる
昭和 44年 (1969)	・清瀬消防署発足 ・中央公園オープン
昭和 45年 (1970)	・市制施行により清瀬市になる
昭和 46年 (1971)	・立科林間学園(現立科山荘)開園
昭和 47年 (1972)	・公社台田団地の入居開始
昭和 48年 (1973)	・市の木(ケヤキ)、花(サザンカ)、鳥(オナガ)に決まる ・市役所新庁舎完成 ・都立清瀬高等学校開校

年 代	で き ご と
昭和 49年 (1974)	・中央図書館開館
昭和 51年 (1976)	・清瀬市民センター(現清瀬けやきホール)、野塩地域市民センターオープン
昭和 52年 (1977)	・下宿地域市民センター、市民体育館開館
昭和 53年 (1978)	・芝山小学校鉄筋校舎完成により全市立小・中学校鉄筋化完了 ・市立けやき幼稚園開園(平成17年閉園) ・下宿運動公園、下宿第二運動公園オープン
昭和 54年 (1979)	・清瀬市高齢者事業団が発足 ・信愛デイケアセンターオープン ・下宿市民プールオープン
昭和 55年 (1980)	・市政施行10周年記念式典、第1回市民まつり開催 ・市の主要道路の愛称が「けやき通り」に決まる
昭和 56年 (1981)	・荒川右岸東京流域下水道清瀬処理場(現清瀬水再生センター)稼働 ・一部地域で公共下水道供用開始
昭和 57年 (1982)	・野塩地域市民センター増築により野塩図書館開館 ・非核都市宣言 ・志木街道のけやき並木が新東京百景に選ばれる
昭和 58年 (1983)	・松山地域市民センター(松山出張所とボランティアセンターを併設)オープン
昭和 60年 (1985)	・清瀬市郷土博物館(市民文化センターを併設)開館
昭和 61年 (1986)	・清瀬金山緑地公園、下宿第三運動公園オープン ・都が松山三丁目都有地を緑地保全地域に指定
昭和 62年 (1987)	・多摩北部都市広域行政圏協議会が清瀬市をはじめ近隣6市(現5市)により発足
昭和 63年 (1988)	・東久留米保健所清瀬保健相談所オープン ・新潟県朝日村と姉妹都市提携
平成 元年 (1989)	・清瀬市健康センターオープン ・清瀬10景選定 ・日本社会事業大学が竹丘に移転
平成 2年 (1990)	・「キョセ ケヤキ ロードギャラリー」オープン ・清瀬駅北口地区再開発事業計画決定 ・市制施行20周年
平成 4年 (1992)	・清瀬駅北口再開発ビルA棟(クレア)着工
平成 5年 (1993)	・清瀬駅北口再開発ビルB棟(アミュー)着工 ・全市域で資源物の分別回収開始 ・柳泉園にリサイクルセンターオープン
平成 6年 (1994)	・清瀬市を始め近隣6市で構成する多摩六都科学館が田無市(現西東京市)に開館 ・竹丘地域市民センター(竹丘図書館を併設)オープン ・市指定有形文化財「旧森田家」を下宿地域市民センター隣接地に復元

年 代	で き ご と
平成 7年 (1995)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「統計きよせ」初版刊行</li> <li>・清瀬都市開発株式会社設立</li> <li>・清瀬駅北口再開発事業(再開発ビル「クレア、アミュー」)竣工</li> <li>・生涯学習センター、男女共同参画センター「アイレック」オープン</li> <li>・駅前図書館、障害者福祉センターオープン</li> <li>・公文書公開制度スタート</li> <li>・下宿二丁目で発見された不発弾を処理</li> </ul>
平成 8年 (1996)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内3カ所に市民農園開設</li> <li>・駅前図書館に住民票と印鑑登録証明書の自動交付機設置</li> </ul>
平成 9年 (1997)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清瀬市消費生活センター、駅前乳児保育園オープン</li> </ul>
平成 10年 (1998)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清瀬市ホームページ開設</li> <li>・長野県立科町立科林間学園跡地に「清瀬市立科山荘」オープン</li> <li>・明治薬科大学が野塩に移転</li> </ul>
平成 11年 (1999)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清瀬第二中学校で給食調理業務の民間委託スタート</li> </ul>
平成 12年 (2000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度によるサービス開始</li> <li>・清瀬せせらぎ公園オープン</li> <li>・中清戸地域市民センターオープン</li> <li>・市制施行30周年を記念して、清瀬市シンボルマーク(キラリ)制定</li> </ul>
平成 13年 (2001)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市長へのメール」開始</li> <li>・ごみの指定袋制(有料)開始</li> <li>・国立看護大学校が梅園に開校</li> </ul>
平成 14年 (2002)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第五・第九小学校が統合され、清明小学校開校</li> <li>・住民基本台帳ネットワークシステムスタート</li> </ul>
平成 15年 (2003)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清瀬市在宅介護支援センター開設</li> <li>・清瀬市民活動センターオープン</li> <li>・清瀬市の人口が7万人台に到達</li> </ul>
平成 16年 (2004)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神山公園オープン</li> <li>・清瀬市オンブズパーソン制度スタート</li> <li>・清瀬みどり債発行</li> </ul>
平成 17年 (2005)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子申請・届出制度開始</li> <li>・水再生センターに清瀬下宿ビオトープ公園オープン</li> <li>・児童センター「ころぼっくる」オープン</li> <li>・パブリックコメント(意見公募手続き)制度開始</li> </ul>
平成 18年 (2006)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市報きよせの配布方法が新聞折込から全戸配布に変更</li> <li>・清瀬市個人情報の保護に関する条例施行</li> <li>・内山運動公園に人工芝のサッカー場オープン</li> </ul>

年 代	で き ご と
平成 19年 (2007)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清瀬市及び周辺地域のうちおり衣料を市有形民族文化財に指定</li> <li>・清瀬市地域包括支援センター開設</li> <li>・コミュニティバス「きよバス」運行開始</li> <li>・市報きよせ1000号達成</li> </ul>
平成 20年 (2008)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清瀬市障害者就労支援センター、中里地域市民センターオープン</li> <li>・「ひまわりフェスティバル」「環境フェア」「川まつり」を初めて開催</li> <li>・市内小中学校14校すべての体育館で耐震化完了</li> <li>・日経新聞主催「全国行政サービス調査(第6回)」において、清瀬市が第3位になる</li> </ul>
平成 21年 (2009)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「伊藤記念公園 台田の杜」オープン</li> <li>・子どもの発達支援・交流センター「とことこ」全面オープン</li> </ul>
平成 22年 (2010)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きよせプレミアム付き商品券発売</li> <li>・旧清瀬東高校を「清瀬市コミュニティプラザひまわり」としてオープン</li> </ul>
平成 22年 (2010)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清瀬市制施行40周年</li> <li>・清瀬けやきホール(旧清瀬市民センター)リニューアルオープン</li> </ul>
平成 23年 (2011)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病児保育室「チルチルミチル」開設</li> </ul>
平成 24年 (2012)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「清瀬・ハローワーク就職情報室」をクレア4階に開設</li> <li>・下宿第三運動公園サッカー場オープン</li> <li>・市が長野県立科町と「災害時相互応援協定」締結</li> <li>・宮城県女川町の災害廃棄物受け入れを柳泉園組合で開始</li> <li>・防災・防犯情報や市のイベント情報を配信する「メール一斉配信サービス」開始</li> <li>・電気・ガスなどの6事業者と「高齢者などの見守り活動に関する協定」締結</li> </ul>
平成 25年 (2013)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土博物館公式マスコットキャラクターが「ひいらぎちゃん」に決定</li> <li>・第68回国民体育大会サッカー競技を下宿第三運動公園サッカー場で開催</li> <li>・貴金属、レアメタルの資源化を目指し、「使用済み小型家電の回収」開始</li> </ul>
平成 26年 (2014)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京病院の「外気舎記念館」を市指定有形文化財に指定</li> <li>・「生活相談支援センター」をきよせ社協に委託し開設</li> <li>・市役所本庁舎などにダイヤルイン導入</li> <li>・中央図書館開館40周年</li> <li>・新庁舎建設基本計画策定委員会から新庁舎建設策定計画について答申</li> <li>・「第30回清瀬美術家展」を郷土博物館で開催</li> </ul>
平成 27年 (2015)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清瀬市と立科町が「友好交流都市協定」締結</li> <li>・ふるさと納税制度開始</li> <li>・きよせ清雅地域包括支援センターを社会福祉法人東京聖老院に委託し開設</li> <li>・緊急速報メール、防災行政無線を電話で確認できる自動音声応答装置の運用開始</li> <li>・スマートフォン用アプリや電子書籍で市報きよせを閲覧できる「i広報紙」導入</li> <li>・「清瀬カップ高校女子サッカー大会」(清瀬市長杯)開催</li> </ul>

年 代	で き ご と
平成 28年 (2016)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土博物館開館30周年を記念し「きよせ郷土カルタ」制作</li> <li>・中央図書館に結核関連資料コーナー設置</li> <li>・クリア駐車場が24時間営業となりパーク&amp;ライドとカーシェアリング開始</li> <li>・郷土博物館で企画展「海よりもまだ深く×是枝裕和展」開催</li> <li>・台風9号が日本列島を直撃、市内の一部に避難勧告発令</li> <li>・東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー開催</li> <li>・清瀬病院跡地を市の文化財(旧跡)に指定</li> </ul>
平成 29年 (2017)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「清瀬のうちおり」が国の重要有形民俗文化財に指定</li> <li>・「婚姻手続き早わかりBOOK」と「オリジナル婚姻届」を配布開始(都内初)</li> <li>・「児童虐待の未然防止と早期発見に向けた情報共有等に関する協定」を警視庁東村山警察署と管轄の清瀬市・東村山市が締結</li> <li>・「ひまわりフレンドシップ協定」を武蔵村山市と締結</li> <li>・消費生活センター開設20周年記念講演会を開催</li> </ul>
平成 30年 (2018)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Kiyose Free Wi-Fi」サービス提供開始</li> <li>・清瀬市プロモーション動画「つたえる」公開</li> <li>・学校法人北里研究所・公益財団法人結核予防会と個別的連携協定を締結</li> <li>・アフリカの行政官・教員のユネスコ平和研修チームが清瀬中学校を訪問</li> <li>・アライグマ・ハクビシンの防除事業を開始</li> <li>・清瀬・東久留米市内のセブン-イレブンで清瀬産ブランド品を販売開始</li> </ul>
平成 31年 (2019)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野塩四丁目に野塩さくら児童遊園が開園</li> </ul>
令和 元年 (2019)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新元号「令和」を記念し、樗プレートに焼き付けた「出生記念証」「婚姻証明書」のプレゼントを開始</li> <li>・新庁舎建設工事開始</li> <li>・清瀬市市制施行50周年記念ロゴマークが決定</li> <li>・東京管区气象台が千代田区大手町の気象庁本庁舎から清瀬庁舎へ移転し、業務開始</li> </ul>
令和 2年 (2020)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェアリージャパン公式練習・演技発表会in清瀬</li> <li>・新しい「清瀬市史」の1冊目を刊行</li> <li>・新宿高島屋のジェラテリア・パンチューラとコラボした清瀬市役所産はちみつ「Kiyohachi」使用の「はちみつジェラート」を市内などで期間限定販売</li> <li>・市制施行50周年記念誌刊行</li> <li>・清瀬市名誉市民の澄川喜一氏が文化勲章を受章</li> </ul>
令和 3年 (2021)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清瀬市役所新庁舎完成</li> <li>・文化勲章受章を記念し、澄川喜一展を開催</li> <li>・きよせコワーキングスペース「ことりば」をアミュービル5階に開設</li> <li>・東京2020パラリンピック聖火リレー清瀬市採火式を開催</li> <li>・下水道への理解・関心を深めるため清瀬市のデザインマンホールカード配布開始</li> </ul>

年 代	で き ご と
令和 4年 (2022)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24時間365日いつでも利用できる「電子図書館」サービス開始</li> <li>・清瀬市障害者福祉センターの愛称が、公募により「おおぞら」に決定</li> <li>・新庁舎建設工事全行程竣工記念式典を開催</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策事業として、「清瀬がんばるお店キャンペーン」を実施</li> <li>・「清瀬ひまわりフェスティバル」に代わり、AR技術を活用した「バーチャルひまわりフェスティバル」を開催</li> </ul>
令和 5年 (2023)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「清瀬市しあわせ未来センター」(旧清瀬市健康センター)リニューアルオープン</li> <li>・秋篠宮皇嗣妃殿下が2回目のご来清。清瀬第二中学校ご見学と日本BCG研究所をご視察された</li> <li>・4年ぶりに「清瀬ひまわりフェスティバル」「きよせ市民まつり」「中里の火の花祭」等のイベントが開催された</li> <li>・DX活用による「らくらく窓口きよせ」運用開始</li> <li>・市役所本庁舎にて「サマーフードフェスタ」「エンドイヤーコンサート2023」を初開催</li> </ul>

統計きよせ 令和5年版（第28号）

令和6年3月

発行 清瀬市

編集 総務部総務課

〒204-8511 東京都清瀬市中里五丁目8-4-2

電話 042-492-5111(代表)



